

## 介護・医療連携推進会議議事録

2025年6月19日

13:00-15:00

### ① 開会の挨拶（岡谷）

### ② 参加者の自己紹介

ケアマネジャー4名、病院ソーシャルワーカー1名、歯科衛生士1名

### ③ 実績報告（岡谷） 上半期の利用動向および新規受け入れ状況についての報告。

④ 事例紹介（岡谷） 末期がんの利用者。疼痛コントロールが必要で、ご本人は「最期まで布団の上で過ごしたい」と希望。訪問看護と密に連携し、1日複数回の定期巡回で安否確認と疼痛の観察を実施。ご家族に対しては、夜間の不安を解消するためのケアコール対応を行い、住み慣れた自宅で穏やかな最期を迎えられた事例。

### ⑤ 質疑応答

- 質問： 看取り期の頻回な訪問において、家族が不在の時間帯の対応は？（ソーシャルワーカー）
  - 回答： 事前にご家族と合意の上で鍵を預かり、スタッフが単独で入室・ケアを行います。必要に応じて電話等で状況をお伝えしています。
- 質問： 食事の介助や見守りだけを短時間（15分程度）依頼することは可能ですか？（ケアマネジャー）
  - 回答： 可能です。定期巡回・随時対応型サービスの特徴を活かし、短時間のケアを1日に複数回組み合わせることで、生活リズムの構築をサポートします。